

真宗佛光寺派  
大阪教区・  
別院だより

# 大悲

第31号

平成30年(2018年)  
10月1日 発行



秋深まる御堂筋（大阪市中央区）

6月に大阪北部を震源とする最大震度6弱の地震があり、その直後、近所のスーパーの店頭から水やインスタント食品などがなくなりました。

いつもは簡単に手に入るものが突然、手に入らなくなつて初めて普段の生活が当たり前ではないと気づかされます。

日常の生活は自然の脅威の前では簡単に崩れてしまうにもかかわらず、「自分とは無関係」「自分は大丈夫」と思っていた私がどこかにいたのです。

今までは昨日と同じような今日が当然また来ると思いながら毎日を過ごしていました。

しかし、当たり前と思っていた毎日が当たり前ではない。どんな日を迎えても今までと同じ日はなく、とても尊い一日を過ごさせていただいている。

忘れがちに生活をしていましたが、今回の地震を通して一日一日の有難さをあらためて知らされたのです。

（寿栄松正顕）



# と う ひ が ん 到 彼 岸



私一人辛抱しています

おさだ ゆずる  
正念寺 長田 譲

う思いが心を閉ざし、かたくなな態度や言葉となつて現れることがあります。

## 無明の酒に酔う

親鸞聖人は御門弟へのお手紙の中で、私たちの姿は煩惱のままに生きているがため、自分のことも周りのことも全く見えていない。「もとは無明の酒に酔いふして」と、酒に酔ったように自分を見失っていると示されています。

「耐えてきた そういう妻に 耐えてきた」(『平成サラリーマン川柳』より) この川柳にもあるように、家族の間で意見の違いやもめ事があると、ここは一つ自分だけが辛抱して何とか丸く収めようとされた経験はありませんか。お寺の中でも前坊守さんと坊守さんの意見対立の中で耐えておられる住職さんともいらっしやることでしょう。実は「私一人だけが辛抱している」とい

私もお酒は好きな方ですが、深酒でろれつが怪しくなったときに、一緒に飲んでいた友人から「かなり酔っているでしょう」と指摘されると、大声で「酔うてません！」と答えたようです。酔っている本人はその自覚がないのです。それが、「仏の御ちかいをききはじめしより、無明の酔い」がようやくく少しづつさめ、煩惱のまま振り回されているあり方に気づかされる身にしていただけると、お手紙は続きます。

## 柔和忍辱の心

『歎異抄』には「いよいよ願力をあおぎまいらせば、自然のことわりにて、柔和忍辱のころもいでくべし」とあります。阿弥陀さまの教えを聴く身となつていけば、自分一人が辛抱しているというかたくなな思いが破られ、柔軟な受け止めも出来るようになるのです。だから柔和忍辱の心とは「自分だけが辛抱していたのではなかった。周りも自分の振る舞いに対し、辛抱してもらっていた。かたじけない」というように他者に思いを馳せるような心へと促されていくのです。

「南無阿弥陀仏」と称えながら。

(平成30年6月14日開催の

さつき会研修会より)



# 如に是ぜ我が聞もん

## 悪を転じて徳を成す正智しょうち

大阪教区 光福寺 玉出宗順たまで そうじゅん師



今まで見えていなかった存在が見えてきた。苦悩という挫折が、他者の挫折の辛さを知る大切な心へと転じたのです。

### お話を聞きして

お念仏の教えを聞き、お念仏を称える生活をするに  
よって、「悩み・苦しみ」がなくなるのではない。その苦悩と向き合える身にしていただけることが「徳」なのだ。

それだけでなく、それが自分にとって大切な事実であるということに気づかせてもらえることが阿弥陀仏の智慧である「正智」なのだ。

このように讃題のお味わいを聞かせていただきました。

(隅谷俊紀 記)

平成30年7月14日、高照寺（堺市北区）で布教大会（後援・大悲の会）が開催され、「悪を転じて徳を成す正智」という讃題のもと、玉出宗順師が布教されました。

### 悩み・苦しみ

私たちは「悩み・苦しみ」を、できるだけ避けて生活したいと思つています。しかしいつたん避けることができて、また違う形で出てきて、私を悩ませます。

このように、思い通りにな

らないということが、私たち

の苦悩の根本であり、私たち

の抱えている煩悩を親鸞聖人

は「悪」と表現されました。

そして苦悩を消し去ったり、

ごまかしたりするのではなく、

その現実は何一つ変わらない

ままで苦悩というものを自分

を活かす大切な力に転じてい

くのが「正智」なのだと聖人

は示してくださっています。

### 笠地蔵

笠地蔵という昔話があります。ある先生が「挫折が人を

育てる話だ」と教えてくださ

いました。

意気揚々と笠を売りに行く

おじいさん。町へ行くときは

お地蔵さんの存在には気づい

ていませんでした。

しかし、笠は売れませんでした。

そんな帰り道、おじい

さんはきつと苦悩で挫折した

気持ちで帰ってきたことでは

よう。

そんな気持ちを抱えて帰つ

てくるときにはじめて、吹雪

で雪をかぶったお地蔵さんに

目が留まったのでした。

# 大阪探検

## 天王寺公園「てんしば」



広大な芝生広場



カフェ



子どもの遊び場

### 【アクセス】

・大阪メトロ御堂筋線 / 谷町線「天王寺駅」、JR「天王寺駅」、近鉄「大阪阿倍野橋駅」、阪堺上町線「天王寺駅前駅」が最寄駅

平成27年10月、天王寺公園入口付近がリニューアルされ、「てんしば」としてオープンしました。天王寺駅からすぐの交通至便な場所にあり、ニューヨークのセントラルパークを彷彿させるような明るい緑の芝生が目の前に広がる開放的な公園になりました。

### 公園と街の融合

約7千㎡の芝生広場を中心にカフェ、レストラン、フラワーショップ、子どもの遊び場（有料）、総合ペットサービス、フットサルコート、産直市場、コンビニエンスストア等の多彩なショップが並び、公園と街の新しい楽しみ方が生まれる拠点です。

産直市場では採れた

ての野菜や珍しい食品が売られており、ついつい買い物をし過ぎてしまいそうです。また、おもちゃを販売している店の中と外に子どもが遊べる広いコーナーがあり、お子さんだけでなく、大人も一緒になって遊べます。周辺には旧住友家の本邸跡地に立つ大阪市立美術館と慶沢園、天王寺動物園、通天閣、あべのハルカス、四天王寺など見どころがいっぱいです。

### 家族で「てんしば」へ

家族そろって「てんしば」で休日をご過ごさるてはいかがでしょうか？ 最後にとっておきの「てんしば」の過ごし方をお教えしましょう。それは青空の下、缶ビールとおつまみを買って芝生の上で寝そべることです。（佐々木太一）

# ごえんさんを訪ねて

## さいしやうじ 最勝寺 (豊中市) なかい けんりゆう 中井賢隆 住職



最勝寺は文禄元（1592）年、摂州・洲到止村（現在の豊中市大島町）に住する篤信者・中井四郎兵衛氏がお念仏の教えに帰依したことに始まり、その法灯は消えることなく現在の第19代中井賢隆住職に受け継がれています。本堂は先代住職が新しい時代に向けて、鉄筋三層、外陣は椅子席、荘厳華麗な本堂を建立されました。多くのご門徒がお参りいただける間法道場として、堂々たる威風を保っています。

### 教化伝道の要

住職は本山佛光寺の伝道誌『ともしび』の編集委員を30年以上務め、現在は編集委員長として活躍されています。また、若手僧侶を中心とした「直会」<sup>じきえ</sup> 間法会の講師を月に一度20年近く続けられ、身近な問題を課題として、お念仏の教えをやさしい言葉で説き続けておられます。



最勝寺本堂

### 多趣味で無趣味

イラストから古美術にいたるまで造詣が深く、聞けばなんでもおもしろおかしく答えてくださいます。音楽もジャズから演歌まで、余暇は音響に包まれているそうです。「趣味は？」と問いますと、「これと言っていないよ」と昭和初期の扇風機を楽し

そうに修繕されていました。

### 教務所長就任

平成18年から8年間佛光寺大阪別院の輪番として勤められ、本年7月から大阪教区教務所長に就任されました。

「宗祖親鸞聖人は、現代を生きる私たちに安心して迷っていける道を頭かにかけてくださいました。いま私の口について出るお念仏は教えに生きた先人のご苦勞です。悲しみ苦しみをごまかす材料が蔓延する時代を生きる私たちであるからこそ、いよいよ宗祖の教えを聞かせていただきましょう」と話してくださいました。

（葦名 彰）

■最勝寺(さいしやうじ)

T 561・0824

豊中市大島町2・1・15

電話 06・6331・0386

Fax 06・6331・2853

# 大悲トピックス

## ■大阪別院・一日参拝研修

6月23日、滋賀北教区の円覚寺（日下秀淳住職）と願照寺のご門徒25名が大阪別院で一日参拝研修をされました。

午前10時に開式し、お勤めのあと輪番の法話。引き続き清掃奉仕で本堂内を雑巾がけしてくださいました。



㊤ 法話される葦名輪番 ㊦ 記念撮影

日下師が代務住職をされている願照寺の本堂は、旧大阪別院の書院を移築したもので、昼食時には懐かしい写真を見ながらなかなか時間を過ごしました。

（大阪別院輪番・葦名 彰）

## ■教務所長と組長の紹介

新しい大阪教区の教務所長（7月21日付）と組長（6月1日付）をご紹介します。（敬称略）

### 教務所長

▽中井賢隆（最勝寺）

### 組長

- ▽第1組・佐々木太一（常光寺）
- ▽第2組・佐々木雅人（西圓寺）
- ▽第3組・三義善英（光照寺）
- ▽第4組・藤澤泰人（唯信寺）
- ▽第5組・善本和彦（本光寺）
- ▽第6組・藤井真幹（宝林寺）

## ■懇志御礼

滋賀県甲良町 円覚寺様

御本山 **近** 用達

株式会社 **川勝法衣店**

フリーダイヤル 0120-075-055  
 (〒600-8344) 京都市下京区花屋町通油小路東入  
 電話 (075) 371-0367(代)  
 FAX (075) 371-5088

本山佛光寺 御用達

石の総合メーカー

株式会社 **石留石材**

ホームページ  
<http://www.ishitome.co.jp>  
 本社：京都市中京区堀川御池角  
 TEL 075-841-1149 FAX 075-812-5826

- 大正三年創業の信頼と実績 -

石留石材株式会社

各種石塔・石仏・記念碑  
 寺社建築石材まで

○ご相談は下記フリーダイヤルへ 携帯・PHS OK

**0120-53-5578**

[本社・工場・展示場] 藤井寺市津堂2丁目9番29号

浜屋は関西最大級のお仏壇・お仏具・墓石・御寺院お仏具の専門店です。

やすらぎの世界を創る **浜屋**

通話料無料/浜屋姫路本社フリーダイヤル

お問い合わせお申し込みは **0120-1616-94**

●受付時間/午前10時～午後6時30分

燦ホールディングスグループ

まごころ葬儀を創造する。

**公益社**

公益社 葬儀相談センター (24時間・365日受付、通話料無料・携帯電話OK)

**0120-567-701**

※2012年5月現在 ㊤-0131

燦ホールディングスグループ

なごみ庵 **きたはま**

KITAHAMA

法要料理 希望の場所までお届けします。

■四條畷店 ☎0743-78-7521  
 ■瓜破店 ☎06-6769-0140  
 ■伊丹店 ☎072-773-7531

※2012年5月現在 ㊤-0132

# だいひ 絵日記

- 7月14日(土) 大悲の会後援・布教大会(高照寺にて)
- 7月18日(水) 佛青懇和会懇親会
- 7月19日(木) さつき会研修会(本山坊守研修会参加)
- 7月19日(木) 大悲の会編集会議(第31号読み合わせ)
- 8月9日(木) 大悲の会編集会議(第31号読み合わせ)
- 8月13日(月) 大阪別院盂蘭盆会(～15日)①
- 9月7日(金) 佛青懇和会研修会(念珠編み・講師:八木浄顕師)②
- 9月11日(火) さつき会研修会(こころは蛇蝎のごとくなり・講師:大谷義文師)
- 9月20日(木) 大阪別院彼岸会(法話:隅谷俊紀師)
- 9月23日(日) 大阪別院彼岸会(法話:玉出宗順師)
- 9月25日(火) 大悲の会編集会議(第31号発送作業・第32号内容検討)
- 9月26日(水) 大阪別院彼岸会(法話:勝部正典師)

(さつき会=坊守会、佛青懇和会=青年会)



## 表具 八木米寿堂

御本尊掛軸修理 絵画、書の表装

〒600-8073

京都市下京区柳馬場通仏光寺上る

tel 075-351-2853 fax 075-352-3258

「大悲の会」御用達

## 鮎 旬魚菜 きぐち

地下鉄御堂筋線あびこ駅前

tel. 06-6696-6880

〒558-0011 大阪市住吉区荻田 7-5-20

さつきマンション 1F

仏跡参拝なら専門旅行会社に  
お任せ下さい!!

～歩もう仏陀の道のりを～



株式会社 **モントラベル**

〒550-0013

大阪市西区新町1-8-1 行成ビル

お気軽にお問い合わせください

TEL. 06-6531-1344

協 賛

法 友 会  
さ つ き 会  
佛 青 懇 和 会

宗  
懐  
石

慶事、仏事、各種会合等の際は、  
和光庵の仕出し料理を  
御利用下さい。

和  
光  
庵

株式会社 和光庵  
〒543-0073 大阪市天王寺区生玉寺町3-32  
TEL06-6774-8090 www.wakouan.co.jp

西天満店 結心(ゆいごころ)  
〒530-0047 大阪市北区西天満4-10-5-1階  
TEL06-6809-6311 www.yuigokoro.com

ご寺院、お役に立てる商品が、  
きっと見つかる情報誌!

寺がある、法が活きる、寺の友社。



株式  
会社 **寺の友社**

〒611-0002 京都府宇治市木幡平尾54番地の2  
TEL 0120-7676-39 FAX 0120-7676-29  
http://www.teratomo.jp

ご希望の、ご寺院には、無料カタログをお送りします。



どなた様でもお参りいただけます  
**法要・法話会のご案内**



**本山佛光寺茶所布教**

毎日午前7時半

※大阪教区布教使の担当は下記の通りです

11月21日(水)～30日(金)  
 (25～28日を除く)

法話：長田 譲 師 (正念寺)

12月11日(火)～20日(木)

法話：門川崇志 師 (浄方寺)

**大阪教区寺院で開催される法話会**

◎正念寺 (大阪市東住吉区・06-6714-3109)

12月5日(水)午後2時

「聞法会」法話：梨本哲哉 師

※詳細は各寺院にお問い合わせください



**大阪別院 報恩講**

10月27日(土)午後2時より

勤行・挨拶・法話

法話：岸本秀一 師 (三重・常楽寺)

**編集秘話**

某進学塾のCMで「分かる・話す・身につく」というキャッチフレーズがあった。なるほどと思ったが「話す」の後に「書く」というフレーズもいるなと思った。『大悲』の原稿を書いているとつくづく「自分は分かっている」と思い込んでいたことを痛感させられる。書くことでより深く考え、身につけばと思う。(玉出)

**編集後記**

十数年前、住職となって間もない頃にした自坊の寺報を読み返してみる機会がありました。あらためて目にしてみると、「初々しさ」とともに、「かたくるしさ」が否めません。でも、どの時の文章も、その時の私自身です。その時代に感じていたことを懐かしく思うとともに、今の私との違いをも楽しむことができました。(隅谷)

大阪教区・別院だより『大悲』 第31号(秋号)  
 平成30年(2018年)10月1日発行 (発行部数2200部)  
 発行：大悲の会  
 事務所：佛光寺大阪別院内  
 〒558-0011 大阪市住吉区苅田6-11-24 電話06-6691-1362  
 郵便振替口座：口座番号「00990-4-305218」加入者名「大悲の会」  
 大悲ホームページ <http://daihi.org/>

大悲の会  
 長田 譲(会長) 佐々木太一  
 隅谷俊紀(副会長) 葦名 彰  
 寿栄松正顕(会計)  
 玉出宗順(会計)  
 門川崇志(監事)